

射水市立新湊小学校 令和4年7月20日



はまっこ

令和4年度—第4号 校長 竹林 浩樹



積み重ねを大切に

充実した夏休みにチャレンジ・チェンジ



今年は梅雨明けも早く、青空がまぶしく感じられる毎日が続いています。今学期は、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで大きな事故もなく過ごすことができました。ご支援、ご協力に対し、心からお礼申し上げます。

今学期は、「はまっこモデル（みんなの模範やお手本）」の誕生・育成を目指してチャレンジしてきました。児童会が中心となり「はまっこモデル」として「あいさつ名人」と「掃除名人」がたくさん誕生しました。挨拶や掃除を毎日コツコツと積み重ねてきた成果が出てきました。

詩人の坂村真民は、「ひとつのことをコツコツ続けていると不思議なことが起こってくる」と言います。不思議なこととは、新湊小学校にとってそして、子供たちにとってどんなことなのか、どんな力なのか、まだはっきりとはしませんが、今後のはまっこたちのチェンジする姿こそが「不思議なこと」ととらえ、その姿を楽しみにしながら学校運営にあたりたいと思います。

今週末からは、子供たちが待ちに待った夏休みです。37日間という長い期間ですが、「コツコツ」を大切に充実した夏休みにしてほしいと思います。家族や地域の皆様の励ましがあると子供たちは頑張ることができます。夏休みの終わりには、「自分の目当てがしっかり達成できた」という満足感と「2学期も頑張ろう」という意欲がもてるよう、どんなことも「コツコツ」と積み重ねて過ごしてほしいと思います。

8月29日には、また、素敵なのはまっこの笑顔が揃うように、お力添えをお願いします。

金銭教育

研究授業 開催



6月29日に、学校訪問研修会が本校で行われました。昨年度から、県の研究指定を受けている金銭教育に関し、学校を代表して、3年1組と5年1組が社会科の授業を公開しました。

3年生では、ねぎ農家の見学をとおり、長年ねぎづくりに携わる方の苦勞や工夫、やりがいについて学びました。5年生では、米作りに関するたくさんの資料から、米作りが行われている地域の特色を調べたり、タブレットを使って米作りが盛んな理由を検索したりしました。

いつもは消費者という立場の子供たちは、生産者の願いや人となりにふれたり、出荷される商品には生産者の強い思いが込められていることを発表したりして、新たな気付きへとつなげました。

金銭教育の研究発表会は、2年間のまとめとして11月22日に開催されます。



金銭教育講演会開催



7月2日に お笑い系ファイナンシャル・プランナー「いちのせかつみ」先生をお招きして、金銭教育講演会を開催しました。いちのせ先生は、生涯賃金や働く意義、キャッシュレス決済の怖さについて、笑いを交えながらわかりやすく講演してくださいました。参加した子供たちには、「お金は幸せになるための道具です。賢く使いましょう。お家の人もよく相談してください。」と話されました。新湊中学校区3校のPTA 連絡協議会会員も参加し、金銭教育の大切さにふれました。



はまっこたち・活躍の様子を紹介します



1年生 生活科「タブレット学習」 チームの入り方をみんなで学習しました。



2年生 生活科「町たんけん2」 校区のお店や公共の建物、街並みを探検しました。



3年生 総合的な学習の時間「ふるさと学習」 新湊のよさをいろいろな点から見付けています。



4年生 総合的な学習の時間「SDGs発表会」 環境について調べたことをまとめ、発表しました。



5年生 社会科「みなとの出前授業」 講師を招いて、港の秘密や役割を学びました。



6年生 図画工作科「焼き物教室」 講師を招いて、オリジナルの花器づくりにチャレンジしました。

子供たちの様子は、本校ホームページでもご覧いただけます。

